

●川に生きる動植物

(汐川水系と免々田川)

汐川の支流である清谷川（田原町）はホタルの名所として知られています。この川の上流には自然工法によるビオトープが作られ、今年のも最盛期には、連日数百匹ものホタルの飛翔が見られました。清谷川の環境保全活動を行っている「せせらぎの会」（会長 金田脩さん）の皆さんの活動が実を結んだものです。



▲ホタルの乱舞（清谷川）

◀ビオトープ（藤七原）



▲免々田川

免々田川中流（山田町）では、今年になって、画期的な数のホタルの乱舞が見られました。竹炭投入や河川美化などの地域住民の協力をはじめ、清田校区（総代 木村春雄さん）の皆さんによる河川浄化作戦のたまものでしょう。ホタル乱舞のピーク時には、各地から見物客が殺到したそうです。この川の周辺は、シイの木が自然林が見られます。この自然林がきれいな水の源です。



▲ホタルの乱舞（免々田川）

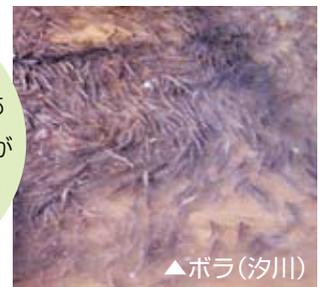
●おわりに

高い山がなく、降水量も多くない田原市。川は短く水量が少ないのも、汚れやすい原因の一つでしょう。平成14年には、汐川が全国ワースト4位になりましたが、住民や行政、企業が一緒に頑張って浄化に努め、汚名を返上できました。

川は地域を映す鏡です。「自分たちの川」を汚さず、美しい渥美半島をいつまでも守っていきましょう。



今年の2月には、汐川河口から数キロあたりまでボラの大群が遡上するほど、きれいになりました。



▲ボラ（汐川）

免々田川には、魚もたくさん泳いでいます。清流だからこそオイカワなども生息できるのです。



▲オイカワ（免々田川）